

『覚・豕

~校長室だより

令和7年10月28日(火) 第8号 葛城市立白鳳中学校 中川 順一 校長

10月24日(金)澄み渡るような爽やかな秋晴れの下、白鳳中学校グランドにおいて多くの来賓 の方々を迎え、令和7年度第75回白鳳中学校体育祭が開催されました!今年の体育祭のテーマは「煌 (きらめき)~一人一人が光る、最高の瞬間を~」でした。先日、惜しまれながら閉幕した大阪・関 西万博のシンボル、大屋根リングが世界に発信したメッセージ、「多様でありながら、一つ」にちなん で、この体育祭でも競技に参加する人だけでなく、運営に携わる人、係の仕事に専念する人、そして、 観覧席で応援する人、みんなが「多様な力を結集して一つ」になる、そして、一人一人が煌めくそん な体育祭にしようと開会式で伝えました。

今年も全学年の集団演技を取り入れ、I年生は以前白鳳中で踊っていたよさこいソーラン、2年生 は昨年に引き続きエイサー、そして、3年生は伝統の南中ソーランです。体育科の先生方が一学期か らみなさんが素晴らしい演技を保護者や地域のみなさんに見せることができるようにと考えていただ きました。クラスルームに投稿いただいた先生自身の見本動画を見て、自宅で練習した人も多かった のではないでしょうか。そんな先生方の「思い」も重なって、どの学年の演技も「一体」となったも のでした!

講評で述べたとおり、特に3年生のみんなの南中ソーランは3年生の迫力、団結力、学年の絆を感 じさせるものでした。最後の退場まで格好良かったですね。2年生のまとまりも良かったです!これ からの白鳳中をリードしていくにふさわしい集団となりました。I年生のみんなの初々しさ、パワー も学校をより良くしていくために必要です。

まだまだ途中経過です。みんなでゴールに向かって進んで行きましょう!

年

よきこいソー

3年南中ソーラン



↑今年のテーマ 『煌~一人一人が光る、 瞬間の最高を』











↓3年生こころ一つに!





放送担当の皆さん、

盛り上げてくれました!



絵画部のみなさんが 素晴らしいポスターで 体育祭を盛り上げてくれました!















細

能言週間が始まりました。

本日、全校集会で、体育祭の振り返りと I O / 2 7 から始まった読書週間についてお話しました。昨年に引き続いて、今年の校長先生からのお薦め本は、和田竜著『村上海賊の娘』です。戦乱の世で瀬戸内海を席巻した村上水軍の物語です。歴史小説もぜひ読んでみてください。図書室へ行ってみましょう!

もう一つスライドを使ってお話を紹介したのが南アメリカ、アンデス

の先住民族に伝わる物語『ハチドリのひとしずく』を紹

介しました。世界で最も小さい鳥、ハチドリのクリキンディが山火事を消火するために小さなしずくを落としていきます。そんなことをしていったい何になるんだ」のことばにクリキンディは「私は、私にできることをしているだけ」と答えるのです。「自分はできない」とか「自分がすることではない」「誰かが何とかしてくれないかな」ではなく、「私にできること」をしているのです。

他人(ひと)のことよりまず自分がなすべきことをしっかりと行い、しかも地道な積み重ねが大きな力となること、あきらめないことをお話しました。中国の歴史書『漢書』に<u>「泰山之霤穿石」</u>(たいざんのあまだれ、いしをうがつ)ということばがあります。軒先からポタポタと落ちる雨の小さなしずくでも、長い間同じところに落ち続けると硬い石にも穴を開けるという意味です。どんな小さな力でも根気よく続けていればいつか大きな成果が得られるということです。いよいよ2学期の締めくくりへ向けて、自身のできることを積み重ねていきましょう。





令和7年度前期 図書室貸し出し冊数

1位 2年4組 350冊 2位 3年4組 288冊 3位 1年3組 280冊

生徒会新執行部が スタートしました!



←新旧生徒会役員の交代です。旧役員のみなさん、様々な活動、ありがとうございました!

保護者の皆さまへ

体育祭をご観覧いただきました保護者のみなさまには最後まで子どもたちへの温かなご声援ありがとうございました!保護者のみなさまや地域のみなさまに見守られながら子どもたちは普段とは違った緊張感をもって取り組めた体育祭であったかと思います。単に自分たちが楽しむだけの行事ではなく、見ている人たちの心動かすそんな体育祭を目指しましたが、保護者のみなさまのご感想も知りたいところです。

3年生の保護者のみなさまには、週末31日(金)、授業参観、進路保護者説明会がございます。ご参加のほうよろしくお願いいたします。